

手順書:ろう孔管理関連

16. 膀胱ろうカテーテルの交換(1)(2)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(ろう孔の破たんの有無、接着部や周囲の皮膚の状態、発熱の有無等)等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、膀胱ろうカテーテルの交換を行う

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- ☐既に交換を最低1回済ませている患者で、医師によって行われた初回交換時に問題がなかった2回目以降の患者
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった場合
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる場合
- ・定期の交換の場合



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐意識状態、バイタルサインが安定している
- ☐ろう孔の破たんがない
- ☐接着部や周囲の皮膚の異常、感染徴候がない
- ☐出血傾向がない

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直接連絡

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

- ☐膀胱ろうカテーテルの交換
- ・必要物品を準備し、新しい膀胱ろうカテーテルのカフの破損がないか固定水(滅菌蒸留水)入れて確認する
- ・シリンジを用いて、バルブからバルン内の固定水を抜き、カテーテルをろう孔部から抜去する。抜去時にろう孔の方向を確認し、挿入時の目安とする
- ・瘻孔の発赤・腫脹・肉芽・潰瘍形成がないか、抜去したカテーテルの汚染の程度を観察し、瘻孔周囲の皮膚を消毒する
- ・清潔操作にて、カテーテル先端に潤滑ゼリーを塗布し、カテーテル先端から瘻孔へ挿入していき、挿入前と同じ深さまで進める。深すぎると尿道に迷走する可能性があるため注意する
- ・シリンジを用いて、固定水をバルブから 1ml 注入し、バルンを拡張させ、軽く引っ張り、尿道に迷走していないことを確認して規定容量までの固定水を注入する
- ・膀胱洗浄を行い、膀胱内にカテーテルが留置されていることを確認する
- ・カテーテル排尿口に尿バッグを接続する



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐意識状態の変化
- ☐バイタルサインの変化
- ☐ろう孔の破たん(閉塞・肉芽・潰瘍・出血の有無)
- ☐接着部や周囲の皮膚の異常(発赤・腫脹の有無)
- ☐感染徴候(発熱、尿バッグ内の汚染の有無)
- ☐出血の有無
- ☐尿道への誤挿入の有無(尿の流出を確認)
- ☐交換後のカテーテル／ボタンの可動性

<確認事項>

異常・緊急性あり



担当医師に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師又は歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

- ☐担当医師に直接連絡する



【特定行為を行った後の医師又は歯科医師に対する報告の方法】

- ☐担当医師に直接連絡する
- ☐特定行為の実施を診療録に記載する